

ニセ電話詐欺の認知状況（令和4年4月末）

～パソコンの『ウイルス感染』ニセ警告に注意!!～

1 県内のニセ電話詐欺の認知状況（令和4年4月末）

- 被害認知件数は**38件**（前年同期比+27件）
- 被害総額は**約1億2,102万円**（前年同期比+約8,892万円）

2 令和4年4月の認知状況

- 被害認知件数は**10件**（前年同月比+9件）
- 被害額は**約3,352万円**（前年同月比+約3,254万円）
- 主な手口は
 - ・ 架空料金請求詐欺 9件
 - ・ 金融商品詐欺 1件

3 県内のニセ電話詐欺の傾向（令和4年4月中）

4月中は、架空料金請求詐欺を9件認知していますが、そのうち7件はパソコンウイルス除去名目で電子マネーの利用権をだまし取る『サポート詐欺』と言われる手口でした。犯人は、パソコン利用者の画面上に突然『ウイルス感染』などとウソの警告を表示させるとともに、被害者に警告画面に表示された電話番号に電話させ、

「パソコンの修理にはコンビニで電子マネーを購入する必要がある」

などとウソを言い、電子マネーの利用権をだまし取ります。

パソコン使用中にウイルス感染警告が表示されたら、下記の作業を行ってください。

- ☑ 画面は無視して、再起動する
- ☑ セキュリティソフトでスキャンする

それでも不安な時は、警察に相談してください。



4 被害状況など

～被害者の年齢・性別構成～

年齢	令和4年4月末(人)		
	男性	女性	計
0～19	-	-	-
20～29	3	1	4
30～39	-	-	-
40～49	-	3	3
50～59	5	1	6
60～64	1	3	4
65～69	6	8	14
70～79	1	2	3
80～89	2	2	4
90～	-	-	-
合計	18	20	38
うち65歳以上の高齢者	9	12	21

～ニセ電話詐欺全体の被害金交付形態～

交付形態	令和4年4月末 件数
振込型 (犯人が指定する口座に振り込ませる)	21
現金手交型 (犯人が直接現金を受け取る)	3
現金送付型 (郵便や宅配便などで現金を送らせる)	-
電子マネー型(コンビニで電子マネーを購入させる)	13
キャッシュカード手交型	-
収納代行利用型(コンビニ決済)	-
キャッシュカード窃取型	1
合計	38